

作成日 : 2015/12/11

改訂日 : 2018/04/03

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	アルテコ F05C(硬化剤)
会社名	株式会社 アルテコ
住所	滋賀県湖南市岩根 136-87
担当部門	品質管理部
電話番号	0748-75-3901
FAX 番号	0748-75-1804
E-mail	hinkan@alteco.co.jp

## 2. 危険有害性の要約

## 【GHS 分類】

健康に対する有害性

皮膚腐食性/皮膚刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1

上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外、分類できない

## 【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル

腐食性



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

注意書き

保護手袋(ポリエチレン製)/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。粉塵/煙などの吸入を避けること。火災の際は粉末消火薬剤等を使用すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断を受けること。気分が悪いときは医師に連絡すること。吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。取扱い後は手を洗うこと。施錠して保管すること。その他パッケージ記載の注意書きをよく読み理解するまで取り扱わないこと。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

: 混合物

化学名

: エポキシ樹脂系 2 液型接着剤

成分	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・労安法)	含有量 %
① 変性ポリチオール (PRTR 法、労安法、毒劇法に該当しない)	非公開	非公開	90 以上

## 4. 応急処置

吸入した場合

: 主剤との混合物の蒸気を含め、温度上昇時に生じる蒸気を吸入して、かゆみなどの異常が生じた場合は、すみやかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

: 付着物をふき取り、中性石けんでよく洗う。かゆみや炎症などの症状が出た場合は、すみやかに医師の診断を受ける。

眼に入った場合

: 多量の水でよく洗う。痛みなどの異常がある場合は、ただちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合

: 安静にして医師の診断を受けること。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

消火剤

: 粉末、二酸化炭素(ABC 型)

特定の消火方法

: 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。

消火を行う者の保護

: 消火作業の際には保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

: 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。

環境に対する注意事項

: 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

- 除去方法
- ・少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
  - ・多量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、漏出した物をすくい取り、空容器に回収し、密閉する。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
- 技術的対策
- : 局所排気装置等を設け、通気の良い場所で作業する。
  - 保護眼鏡、防毒マスク、不浸透性手袋等の保護具を着用する。
  - 直接手で取り扱うような作業方法は絶対に避ける。
  - 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 注意事項
- : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は、全体換気を適正に行う事が望ましい。
- 保管
- 適切な保管条件
- : 容器を密閉し、直射日光の当たらない 5~35 °C の乾燥した場所で保管する。 その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。
8. 暴露防止及び保護措置
- 設備対策
- : 混合、注入、塗布、接着工程などの作業場には、局所排気装置(加熱工程の蒸気発散原には、ブース式又は囲い式フード)を設置する。
- 管理濃度
- : 設定されていない。
- 許容濃度
- : 日本産業衛生学会 (95年度版) 設定されていない。
  - ACGIH 設定されていない。
- 保護具
- 呼吸器の保護具
- : 防毒マスク
- 手の保護具
- : ゴム手袋など不浸透性の手袋を着用する。
- 眼の保護具
- : 側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。
- 皮膚及び身体の保護具
- : 長靴、前掛け、保護衣
9. 物理的及び化学的性質
- 物理的状态
- 形状
- : 液状
- 色
- : 淡黄色透明
- 臭い
- : 刺激臭
- 比重
- : 1.12~1.14(25 °C)
- 引火点
- : 155 °C以上(クリーブランド開放式)
- 溶解度(水)
- : 難溶解
10. 安定性及び反応性
- 安定性
- : 通常の実験においては安定。但し、高温・高湿な場所での取扱い・保管は避ける。
- 反応性
- : 主剤との混合時に、急激な重合発熱反応をおこす可能性がある。
- 危険有害な分解生成物
- : データ無し
11. 有害性情報
- 急性毒性(経口)
- : 区分外 (NITE データより)
- 急性毒性(経皮)
- : 区分外 (NITE データより)
- 皮膚腐食性/皮膚刺激性
- : 区分1 (NITE データより)
- 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性
- : 区分1 (NITE データより)
- 生殖細胞変異原性
- : 分類できない (NITE データより)
- 発がん性
- : 分類できない (NITE データより)
- 生殖毒性
- : 分類できない (NITE データより)
12. 環境影響情報
- 水生環境有害性(急性)
- : 分類できない (NITE データより)
- 水生環境有害性(長期間)
- : 分類できない (NITE データより)
- オゾン層への有害性
- : 分類できない (NITE データより)
13. 廃棄上の注意
- ① 都道府県条例等に基づき焼却するか、又は、産業廃棄物として許可を受けた処理業者に委託する。使用済みのウエス等も同様である。
- ② 主剤と混合し、硬化させた物は、廃プラスチック類として許可を受けた処理業者に委託する。
- ③ 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去しておく。
14. 輸送上の注意
- 注意事項
- : 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

引火性液体に関する一般的な注意事項に従うこと。火気厳禁とする。

国内規則

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類	: クラス 9 (航空機の場合のみ)
国連番号	: 3334 包装等級Ⅲ (航空機の場合のみ)

15. 適用法令

消防法

危険物第4類第3石油類 危険等級Ⅲ(非水溶性液体) (2000L)

労働安全衛生法

労働基準局長通達(基発第477号、S51年6月23日)

エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について

化学物質管理促進法(PRTR法)

該当しない

16. その他の情報

日本接着剤工業会自主規制 JAIA 003275 F☆☆☆☆  
JAIA 402992 4VOC 基準適合

引用文献

- ・ 接着剤の製品安全データシート作成の手引き (日本接着剤工業会)
- ・ 化学物質による健康障害を防止する為の手引き (日本化学工業協会)
- ・ 製品安全データシートの作成指針(改訂版) (日本規格協会)
- ・ 製品評価技術基盤機構(NITE)GHS分類結果データベース(平成25年度版、利用者判断)

その他記載事項について

- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- ・ 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。
- ・ この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正される事が有ります。
- ・ 以前に取得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄してください。